

中学2年生 歴 史 学習指導計画

教科目(単位数)	歴史(2単位)
年間目標	日本の近代・現代の歴史を学ぶ。国際社会と日本という視点を意識させ、高校における世界史・日本史の学習につなげる。
使用教科書	清水書院『新中学校 歴 史 日本の歴史と世界』
使用補助教材	文理『中学 Winspace 社会 歴史』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	第3章 近世の日本と世界 第4節 産業の発達と町人文化 第5節 社会の変動と欧米諸国の接近	諸産業の発達 都市と商業の発達 元禄時代の人びとのくらし 元禄文化と学問の発達 社会の変化と幕府政治の改革 ききん・打ちこわしと幕府政治の立てなおし	・農業生産の向上に伴い、各地で産業が発達し、交通網が整備されたことで全国規模の流通が可能となったことを理解する。・元禄時代は民衆の生活水準の向上を背景に上方中心に商人の文化が開花したことを理解する。・他方、幕府財政が悪化し、最初の幕政改革が行われたことを理解する。
	後 半	第4章 近代の進む世界と日本 第1節 近代社会の成立 第2節 開国と江戸時代の終わり	欧米諸国の接近と対応 新しい学問と思想 江戸後期の文化と民衆のくらし 近代をむかえる東アジア アメリカの独立とフランス革命 産業革命と近代社会の幕開け 欧米諸国の勢力拡大 欧米諸国のアジア進出 開国直前の日本	・幕府の改革が失敗に終わる一方、欧米諸国が、日本に接近してきた事実を、その背景を含めて考察する。・江戸時代中期の東アジア諸地域の動きを欧米諸国の動向とからめ、理解する。・欧米諸国の世界進出の背景にあった市民革命と産業革命を考察する。・欧米諸国のアジア諸国への進出の実態と、幕府政治の衰退を理解する。
2 学 期	前 半	第3節 明治維新と文明開化 第4節 立憲政治のはじまり 第5節 アジアの近代化と日本のうごき	ペリーの来航と開国 幕府と徳川政権の終結 薩長同盟 明治維新 身分制度の廃止と国民の形成 経済制度の改革 文明開化と教育の普及 新しい国際関係 領土の確定と北海道・沖縄 民権運動の土壌と士族の反乱 日清戦争と 開国開港の公約 内閣制度と大日本帝国憲法の制定 立憲政治の定着と条約改正	・ペリー来航の意義と幕府の対応を考察する。・開国後の国内政治の推移を理解する。・欧米型の近代国家建設を目標とする明治政府の諸政策を理解する。・国会開設を目指した自由民権運動の流れを追って理解するとともに、政府のとした対応を考察する。・国会開設に向けた国内制度の整備と憲法制定の準備について考察する。・大日本帝国憲法
	後 半	第6節 日本の産業と社会の変化 第5章 二つの世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本	日清戦争 日露戦争 日本の植民地統治 中国の革命と日本 経済の発展とそのひずみ くらしの変化 教育と文化の発展 第一次世界大戦と日本 ロシア革命 大戦後の世界 民族運動の高まり 大正デモクラシーと政治 の発展 社会主義運動と労働運動の発展 植民地の動向と国外の日本人 都市化と文化の近代化 民主主義と国際協調のゆらぎ 恐慌の影響	の特色を理解する。・条約改正交渉の経過を、国内の動向と国際関係の変化に関連させて理解する。・日清・日露の両戦争から日本の植民地支配までの経緯を理解する。・産業革命の進展による経済の発展、社会問題や環境問題の発生とその対応について考察する。・第一次世界大戦と日本の動きを、日本の参戦を通じて理解する。・第一次世界大戦後の国際社会の動向を、国内状況と関連
3 学 期		第2節 政党政治の発展と大衆文化 第3節 ファシズムの動きと日中戦争 第4節 第一次世界大戦と戦時下の日本	政党政治の発展と大衆文化 日中戦争と戦時体制 第一次世界大戦の終結 第一次世界大戦と戦時下の日本	付けながら、考察する。・大正デモクラシーと普通選挙の実現により、国民の政治参加への高まりを理解する。・世界恐慌に対する各国の対応策を考察すると同時に、ドイツを中心とするファシズム国家が台頭する過程を理解する。・世界恐慌後の不況打開を大陸進出に求める動きが、軍部を中心に生まれてくる経緯を理解する。・満州事変と国内での軍人の起こした事件が軍部の政治介入をもたらしたことを理解する。日中戦争から太平洋戦争の開開始までの経緯を、国際社会の動きとからめて考察する。・日本の占領地と植民地の支配の実態を理解する。・戦時下の国民生活に実態を理解する。
		第6章 現代の日本と世界 第1章 戦後の日本と世界	民主主義のめざし 大日本帝国憲法の制定と教育の民主化 冷戦のはじまり 国際社会への復帰 戦後の平和運動	・戦後の諸政策が、どのように進められたかを考察する。・日本国憲法制定の過程を理解すると同時に、教育の民主化についても理解を深める。・国際連合の成立の一方で、冷戦構造ができあがっていた過程を考察する。・冷戦が日本の占領政策に転換をもたらした。朝鮮戦争がそれを強め、日本と米国との依存関係が深まるなかで、日本の国際社会への復帰が実現したことを理解する。

評価方法	1.定期試験の成績 ※1・2・3の合計で評価	2.提出物(課題・作業シートなど)の提出状況	3.学習態度・発言などの平常点
学習方法	1.教科書をよく読み、授業の予習をする。 2.授業に集中して、ノートをきちんと取る。 3.歴史用語・地名・人物名などは正確に漢字で書くことができるようにノートを取る際や復習の際に間違いのないように注意して書く。 4.副教材『中学 Winspass 社会 歴史』および 課題の問題プリントでしっかり理解できているか確認し、理解があいまいな場合は何度も反復学習をする。		
注意事項	歴史を勉強するにあたりまずは、教科書を熟読しましょう(声を出して読みましょう)。次に補助教材の『資料による 新しい歴史』(出版社: 浜島書店)にでている年表を参考に時代の特色や流れをつかんでください。また、定期試験では、歴史用語や地名・人物名などはすべて漢字で答えることになります。復習や定期試験の勉強にあたって、くり返し漢字で書いて覚えるよう心がけてください。		
インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	補助教材 『中学 Winspass 社会 歴史』を使って、自宅学習をします。学習する箇所は、そのとき担当者から連絡します。		